



スマートビルディング・カンファレンス 2025

2025年3月27日

スマートビルディング共創機構 発起人会



一般社団法人 スマートビルディング共創機構

設立予定日：2025年4月2日

住所：〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス丸の内 13F

共創機構の発起人

株式会社Andeco

大成建設株式会社

株式会社日立製作所

scheme verge
株式会社

株式会社竹中工務店

株式会社ビットキー

セコム株式会社

東急建設株式会社

株式会社ビルポ

ソフトバンク株式会社

パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社

森ビル株式会社

設立時役員予定者(順不同)

代表理事

- 竹田 真二 (森ビル株式会社 部長)

監事

- 富田 俊郎
(特定非営利活動法人 LONMARK JAPAN 理事長)

理事

- 早川 慶朗 (株式会社Andeco 代表取締役)
- 嶂南 達貴 (scheme verge株式会社 代表取締役)
- 早坂 琢磨 (セコム株式会社 担当部長)
- 西村 賢一 (ソフトバンク株式会社 室長)
- 野村 淳 (大成建設株式会社 部長)
- 政井 竜太 (株式会社竹中工務店 本部長)
- 林 征弥 (東急建設株式会社 技術統括部長)
- 秋田 剛志 (パナソニック株式会社 統括部長)
- 小菅 佳克 (株式会社日立製作所 本部長)
- 稲垣 太一 (株式会社ビルポ 代表取締役)

設立趣意書(1)

我が国では、急速な人口減少下における人手不足、地球温暖化を受けた脱炭素やカーボンニュートラルの必要性など社会課題が顕在化しており、働き方改革やワークスタイルの変化など含め、建物を取り巻く環境は大きく変化し求められる役割も変遷しています。モノからコトへ、所有から利用へ、あらゆる製品・サービスがデジタル化してゆくという社会変革の潮流は、建物においても決して例外ではなく、データとデジタル技術による協調領域が抽出され、スマートビルという新しい概念が生まれてきました。

人間中心の社会(Society5.0) 実現のためには、快適で便利な国民生活を実現する次世代の建物空間創出に向けて、このスマートビルのアーキテクチャ設計を推進する旨の政府の方針が示されており、経済産業省が掲げるウラノス・エコシステムの理念に沿ってスマートビルを普及促進してゆく重要性は高まっています。

今後、建物に関わるあらゆるデータの可視化により、様々なステークホルダーへの新たな価値提供やIoT、AI、クラウド、ロボット等の活用・推進がより一層求められます。スマートビルにおいて蓄積した情報を建物間で連携してゆくことは、街全体ひいては社会全体の生産性向上やウェルビーイングの実現に貢献してゆくものであり、それがスマートシティを実現する構成要素となることが期待できます。

設立趣意書(2)

これらの状況に対応すべく、スマートビルに関わる人材の育成や協調領域の整備による技術標準化等を推進し、データの利活用とデジタル・トランスフォーメーション(DX)を促進する新たな産業を創出・振興させる役割を担いながら、国内はもとより世界をリードする存在を目指し、ここに「一般社団法人スマートビルディング共創機構」を設立します。

当法人は、ビルに暮らし集い働く人々がより快適で安全安心な人間中心かつ持続可能な社会実現のために貢献していきます。そのために、サイバーとフィジカルをデジタルでつなぎ、より人々の行動に寄り添った自然なデータ利活用が生まれるスマートビルを普及促進させ、建物の更なる高度化を促し、スマートビルに関わるすべてのステークホルダーに好循環を及ぼすと同時に人々に新たな価値を提供し続けます。

当法人は、産学官が連携した公共性・公益性・透明性を有する組織として、建物に関わる多種多様な知見・機能を有する会員が業種・分野・国境の垣根を越え、横断的かつ調和をもってデータ共有やシステム連携ができるエコシステムの構築を目指します。そのために、特定の企業や業界に利することのないリーダーシップを発揮し、新しい発想や技術を生み出すためのオープンで活気ある組織を基調とした未だ見ぬコラボレーションの実現や価値創出を尊び、デジタルを活用したプロセスや組織並びに機能の自動化・効率化に取り組み、自律的な成長を遂げる組織を構築してゆきます。

団体理念

MISSION -存在意義・理由-

産学官が共創して社会課題に向き合い、デジタルやデータを活用したスマートビルの普及促進活動を通じて人々に新たな価値を提供し、人間中心かつ持続可能な社会の創造に貢献します。

VISION -目指すべき姿-

世界をリードする 仕組みづくり

イノベーションを促進し、新たな産業創出と国際競争力向上に資する仕組みを実現します。

スマートビルが 当たり前の世界

目的に応じたデータ利活用により、建物やサービスの継続的な価値向上を実現し、スマートビルが当たり前の世界を目指します。

エコシステムの 構築

デジタル化されたプロセスにより参入障壁を排除し、市場を活性化するエコシステムを構築します。

VALUE-社会・会員に提供する価値-

インセンティブ・ ルールの創出

スマートビル普及を推進するためのインセンティブ・ルールを創出していきます。

スマートビルの 標準化・認証

スマートビルの協調領域を明確化し、システムや技術、品質の標準化を進めていきます。

集合知の 構築と共有

スマートビルに関する多様な情報を集め、集合知を構築し広く共有していきます。

世界に通用 する人材育成

必要な専門性を定義し、教育機会提供により世界に通用する人材を育成していきます。

コミュニティの 形成

新しいビジネスやソリューションが生まれる共創の場を提供し、コミュニティを形成していきます。

共創機構の役割

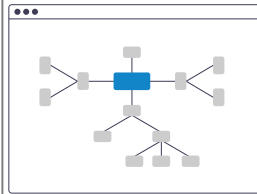
様々なステークホルダーにバリューを提供できる団体となる。

01 | 知識交流を促す コミュニティ運営



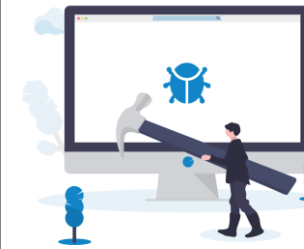
- 1 コミュニティ創設
- 2 イベント実施

02 | エコシステムの創造



- 1 アーキテクチャ規定
- 2 協調領域の定義

03 | ガイドラインや ツールの整備



- 1 ガイドライン更新
- 2 開発ツールの整備
- 3 データの公開

04 | 教育や検定事業による 技術者育成



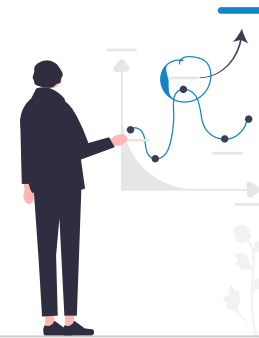
- 1 教育環境の整備
- 2 大学の授業への導入
- 3 検定事業

05 | 政府や研究機関への働きかけ



- 1 規制緩和の提言
- 2 ウラス・エコシステム連携
- 3 助成事業の要望
- 4 PoCフィールド創出

06 | 国際競争力の強化



- 1 ビルサービスの普及
- 2 データモデルの輸出

デジタル完結な組織のあるべき姿

「デジタル空間とリアル空間の相互作用を通じて、自律的な成長を遂げていく組織」としての「デジタル完結な組織」の構築を目指す

5 自律的な成長サイクル

AI・データ利活用による支援 成果の可視化によるフィードバック 等

3 オープンで民主的なプロセス

決定プロセスのデジタル公開
幅広い主体による意思込め 等



4 負担なく持続可能な運営

業務の自動化・効率化
会員リソースの有効活用 等



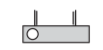
2 アジャイルな挑戦環境

若手に任せ、育てる文化 先進的DXの取組の実践 等



1 領域横断の有機的なつながり

リアルならではの熱量の伝播 未だ見ぬコラボレーションの実現 等



行政



大学



ゼネコン、
設計会社



メーカー



ディベロッパー



ビル管理、ロボット、Sler
警備、清掃



IoT、AI



ベンチャー

...

スマートビル

リアルのつながりがデジタルの効果を最大化

デジタルの効果をリアルに還元

Real Space

Digital Space



团体概要



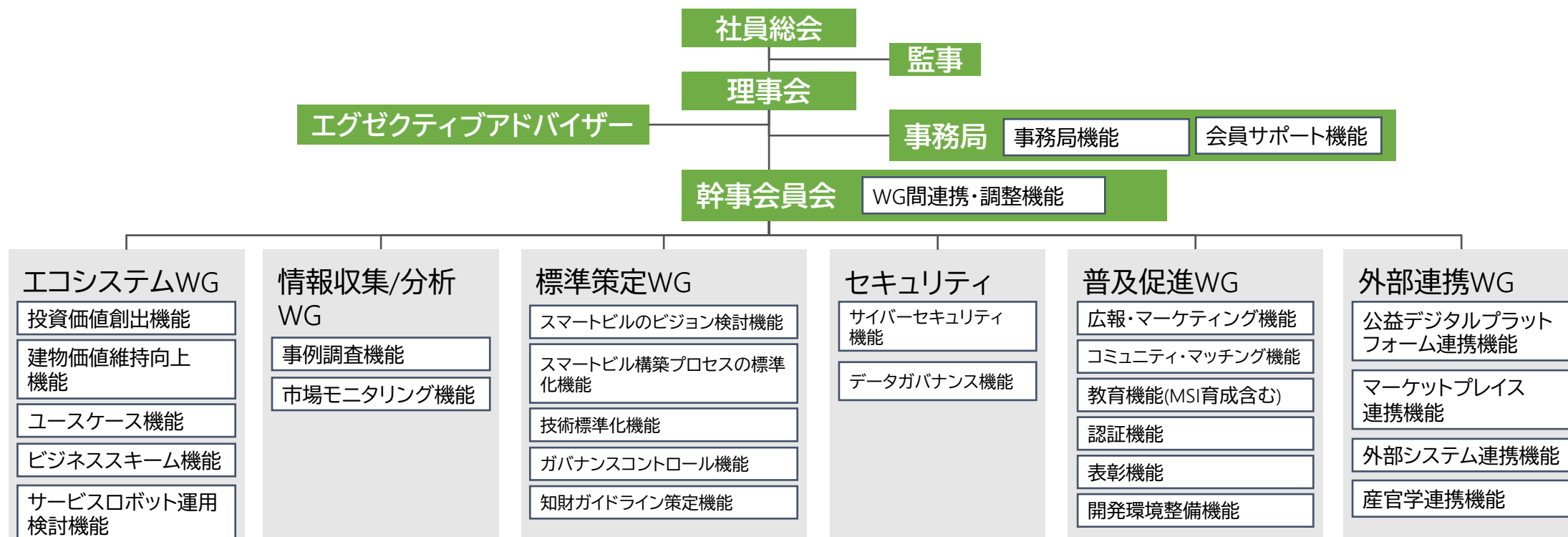
団体概要

理事会設置の非営利型一般社団法人として設立し、具体的活動は幹事委員会およびWGを中心に、エコシステム、情報収集、標準策定、セキュリティ、普及促進、外部連携等の取組を推進してゆく予定です。

ミッション デジタルやデータを活用したスマートビルによって人々に新たな価値を提供し続けることで様々な社会課題を解決し、人間中心かつ持続可能な社会に貢献する

法人形態 非営利型一般社団法人

組織体制



※WGは団体設立後に設置予定であり、WG名や各機能は現時点想定。

共創機構の主要機能について

共創機構では当初6つのWG(およびそれに連なるSWG)による推進を検討中

エコシステムWG

スマートビルにおけるビルオーナー・管理会社・入居者(ユーザー)など様々なアングルからの価値を検討しつつ、必要なユースケース案出やビジネススキーム構築等の検討を、時にはインタビューなど実施しながら行う。

投資価値創出機能

建物価値維持向上機能

ユースケース機能

ビジネススキーム機能

サービスロボット運用検討機能

情報収集/分析WG

スマートビルに関わる国内外の先進事例や業界動向を個別の事例またはマクロ視点での動向調査を実施するとともにデータベース化することにより、スマートビル化の機運醸成、スマートビル化に関する検討の迅速化・普及促進を目指す。

事例調査機能

市場モニタリング機能

標準策定WG

スマートビルのあるべき姿・協調領域の具体化に向けたガイドラインを策定、また構築のプロセス(役割分担・契約書等)・技術仕様・データに関するガバナンスやリスクマネジメントのあり方、知財管理のあり方の標準化を目指す。

スマートビルのビジョン検討機能

スマートビル構築プロセスの標準化機能

ガバナンスコントロール機能

知財ガイドライン策定機能

技術標準化機能

共創機構の主要機能について

共創機構では当初6つのWG(およびそれに連なるSWG)による推進を検討中

セキュリティWG

スマートビルのセキュリティ(サイバー/フィジカル)に係る制度・技術・標準化を一体的に政策展開する戦略を検討および提言する。なおサイバーセキュリティについては、経済産業省が主管として進めていた産業サイバーセキュリティ研究会WG 1ビルSWGの検討を引き継ぐ。

サイバーセキュリティ機能

データガバナンス機能

普及促進WG

スマートビルの社会受容性向上に向けた広報/マーケティングや教育/育成、認証、表彰、開発基盤づくりや会員同士の交流を促進するコミュニティ機能を具備し、市場形成/創出～拡大を目指す。

広報・マーケティング機能

コミュニティ・マッチング機能

認証機能

表彰機能

教育機能(MSI育成含む)

開発環境整備機能

外部連携WG

必要な外部連携のハブとなり、コミュニケーションや取り組み推進の円滑化を目指す。具体的には、経済産業省や国土交通省などの官庁、各種業界団体、海外標準化団体などとの連携により、スマートビルの社会実装を加速する。

公益デジタルプラットフォーム連携機能

産官連携機能

マーケットプレイス連携機能

外部システム連携機能

今後のスケジュール

現在～4月30日	入会申し込み(事前募集)受付中
4月 2日	設立登記
4月上旬	設立時理事会
5月上旬	臨時理事会
5月下旬	設立総会
	入会申し込み(オンラインにて通常募集)



募集概要



会員種別

会員種別・資格は以下のとおりとします。



会員種別

会員種別	資格
幹事会員	・ 団体の理念および事業内容に賛同し、一般会員に比べ多くの会費を支払った企業または団体
基金拠出幹事会員	－ 基金を拠出した幹事会員
幹事会員	－ 基金拠出幹事会員以外の幹事会員
一般会員	・ 団体の理念および事業内容に賛同し、会費を支払った企業または団体
1号会員	－ 2号会員の資格に該当しない企業または団体
2号会員	－ ベンチャー/スタートアップ
賛助会員	・ 団体理念および事業内容に賛同し、その推進に貢献することが可能な地方自治体、大学・研究機関、一般社団法人等の団体

- ・ 幹事会員・一般会員をもって社員となり、社員は社員総会の議決権を得ます。
- ・ 2号会員(ベンチャー/スタートアップ)の定義は、設立10年以内としています。なお、設立10年以内の要件を満たさない場合であっても、理事会で特段の承認を得た場合には、2号会員としての入会を認める場合がございます。
- ・ 個人会員は想定していません。

現在、共創機構会員の事前募集を実施中

法人設立に向け、幹事会員及び一般会員、賛助会員を募集しています。
事前募集の期限は、2025年4月30日までです。

詳細は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)のHPに掲載されていますので、
下記の書類はそちらをご確認ください。

- ・会員募集要項
- ・会員規約
- ・入会申込書



↑こちらのQRコードから
アクセスできます

また、オンライン説明会(次回は3月30日開催)の案内も記載しています。

入会手続きのプロセスとスケジュール

会員の事前募集は2月28日～4月30日まで。
ホームページを開設後、オンラインでの通常申し込みの受付を開始予定。

2025年	1週	2週	3週	4週	5週
2月					会員募集 (準備会) 事前募集
3月		説明会 (準備会)	会員募集 (一般)	説明会 (一般)	プレスリリース 事前募集期間
4月	法人設立				事前募集期間
5月		臨時 理事会			社員総会 (予定) 入会承認 請求書 発行 会費納入 (期限は追って設定)

各フェーズにおける役割や手続き

募集書類

- 設立準備会会員には、事務局より必要書類をメールで配信いたします。
- 一般向けの募集書類は、(独)情報処理推進機構(IPA)のホームページよりダウンロード願います。書類・提出方法は募集要項をご参照ください。
- 会員募集説明会については、IPAのホームページをご参照ください。
- ホームページ開設後、オンラインでの通常申し込みの受付を開始予定です。

入会承認

- 申し込みを受理後、理事会において入会承認を行います。必要に応じて質問等させていただく場合がございます。

法人立ち上げ後

- 幹事会員、一般会員は社員総会での議決権を有するため、社員総会にご参加願います。
- 会費の納入は入会承認後、翌月末日までを想定しています。

応募いただきたい企業・団体

団体のフィロソフィーに照らし、課題解決への想いに賛同いただき、積極的に活動に参画いただける、多様な団体の皆様からご応募いただきたいと考えております。

スマートビルディング共創機構のフィロソフィー



変革性(柔軟な思考・技術活用による先駆的な取組推進)

- ・ デジタルの積極的な活用による効率的組織運営
- ・ 若手・新興企業による自律的な意思決定・実務推進



公益性(ステークホルダー全員の課題解決への貢献)

- ・ 個別のWGに閉じない横串での横断的な連携
- ・ 個別企業・業界にのみ利することのない全体最適な意思決定



包摂性(様々な業界・規模の企業の集積)

- ・ 特定の業界・領域に留まらない企業の参画促進
- ・ 大企業のみならず、スタートアップや官・学の参画促進



機動性(アジャイルに意思決定・実務推進)

- ・ デジタルによる効率的なコミュニケーション・意思決定
- ・ 誰もが企画を発案できる環境



持続性(資金/人的リソースの獲得によるサステナブルな組織運営)

- ・ 立ち上げ当初の運営費確保
- ・ 会費収入に依存しないマネタイズポイントの設定

ご応募いただきたい団体

スマートビルの取り組みを通して、社会・業界を変革し、個別企業・業界にのみ利することなく、課題解決を促進することに賛同いただける団体

特定の業界に限らず幅広い業界や業種の団体や、大企業に限らずスタートアップや官・学に属する団体

デジタルを活用した機動的な意思決定・コミュニケーションに賛同し、積極的に活動に参画いただける団体

スマートビルディング共創機構の
これからの活動にご期待ください！